(傍線部分又は破線で囲んだ部分は改正部分)

	改正	後								改	正 前						
別紙第1	i 勤	届	令和	年 月	日提出	別紙	第1		通	į	勤	届	令和	年月	月 日抗	是出	
各庁の長	勤務官	署 名				各月	宁の長				勤務官署名						
	殿 所 在	E 地								殿	所 在 地					\neg	
官職	氏	名				官	職				氏 名	-				胆	
住居	L					住	E E										
人事院規則9-24 (通勤手当)第3条の規定に基づき通勤の実情を届け出ます。														-			
届出の理由		屋出の神山(核当オスロに10年を付する)															
面前の届出の区間と同一の区間がある 日 新規 (□ 異動等に伴う通動経路又は方法の変更の場合)							□ 1 新規 (□ 異動等に伴う通動経路又は方法の変更の場合) □ 直那の居出の区間之間一の区間がある (核治する民間に係る経験体の□した用な付する。)										
□3 通勤経路又は方法の変更							住居の変更 通勤経路又は方	法の変更									
□ 4 運賃等の負担額の変更□ 5 その他(mt at a met 1 s a st		_		□4	運賃等の負担額		,							- 1	
		届出の理由が生	じた日 令和	年 相 0	月日		その他(J		品	出の理由が生じた	午日 令和	年	Ħ	В	
順路 通勤方法 区間 の 別	野 離		要 乗車券等 間 の 種 類	15 Hr # #	1		T							左欄		$\overline{}$	
		1 HOT 11	U 44 3	等の質		ME	通勤方法	Ø	. FI	l	距離		乗車券等の 種 類	乗車	券備	有考	
1□ 住居から(経由)	まで .)	P			,	住居からく	経由〉	まで				等の		-	
2口 から(経由)	まで .		ð	P		1 0		# is (経由)	# To	- km	分		-	Ħ	-	
3□ から (経由) 4□ から (経由)	まで .		<i>b</i>	P		2		th à (経 由)	# T	- km	分			円		
4□ から(経由))	P		3 [- km	分			円	—	
6□ から(経由)	まで .		o			4 [から (経由〉	まで	- km	分	www.nanaaaaaaaaaaa		円		
7口 から (経由)	まで		ð .	- '		5 [から (経由)	まで	- km	分			円	_	
記入上の注意				要時間	 分			から (経由)	まで	. km	分			円		
1 「届出の理由」欄中「3 通勤経路又は方法の変更」								から (経由)	まで	. km	分		<u> </u>	円		
負担額の変更」には勤務態様の変更(交替制勤務から昔)	通勤務への変更等)によ	る負担額の変更を2	<u>まむ。</u>	<u> </u>	200	記	人上の注意						総通算	加距離	<u> </u>	km	
2 「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自 3 「乗車券等の種類」欄には、通勤に使用する乗車券等	1	「通動方法の別」 <u>の</u>	聞には、通勤の順路に 関には、空間巻(c 等					総所要	時間		分						
4 「左欄の乗車券等の額」欄には、 <u>通動に使用する乗車券等(定期券(○箇月)、○枚銀回数券、優待乗車券等)の</u> 額を記入する。																	
5 往路と復路が異なる場合は、「備考」欄にその旨と理! 6 通勤の実情の一部に変更がある場合は、変更内容に関!		略することができる	ა					易合は、「儞考」欄に 変更がある場合は、変			省略することができ	* る。				- 1	
給与法第12条第3項又は第4項の規定の適用を	受ける職員(新幹線	泉鉄道等利用者)	1			L											
□1 異動等に伴い、通動が困難になったことにより新幹額 □2 単身赴任手当を受給していた職員で、配偶者と同居			首等を利用するこ	ととなった職も	6	給-	子法第12条第3 異動等に伴い	項又は第4項の通勤が困難になった	規定の適用を	受ける職員	員 (新幹線鉄)	道等利用者)					
※ 現官署への異動発令年月日 令和 年 月		学前の住居への入居			月日		単身赴任手当を	受給していた職員で	で、配偶者と同居	- 通勤が困難	となったことに	より新幹線鉄道等	穿を利用するこ	ととなっ	た職員		
※ 異動等の直前の住居		※ 現住居への入			月日	*	現官署への異動発	令年月日 令利	年 月	B	※ 異動等前の	住居への入居年月	月日 令和	年	月	日	
新幹線鉄道等利用者の新幹線鉄道等を利用しない場合の通	動の経路及び方法等					*	異動等の直前の	住居			※ 現住	主居への入居年月	日 令和	年	月	日	
順路 通勤方法の別 区 間		\$5 \$	# 89 8	要 時 間	備 考	新章	·線鉄道等利用者の	新幹線鉄道等を利用	用しない場合の通	めの経路及び	方法等						
		#F 6			BHA	順路	通勤方法の	別	区 間			距離	所要	時間	備	考	
1 住居から(経			. km	分		1		住居から	(経由) #	· T		km	分		\neg	
2 から(経)			. km	分		2		から	(経由) ‡	: で		km	分			
3 から(経)			· km	为		3		から	(経由) ま	: で		km	分		\neg	
4 から(経)			- km	分		4		から	(経由) 3	· で		km	分		\neg	
5 から(経) 6 から(経)			. km	分分		5		から	(経由) i	· で		km	分			
	1 1	6 this projet			 分			から	(経由) j	· で		_km	分]-,	
記入上の注意 総通勤距離 ・ ㎞ 総所要時間 分							人上の注意	t					総通菓	加距離		km	
1 ※情報は日1をプログルの表別人すること。 2 「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自動車、○○線等の別を記入する。							1 ※欄は□1にレ印を付した職員のみ記入すること。 2 「通勤方法の別」欄には、通勤の網路に従い徒歩、自動車、○○線等の別を記入する。 総所要時間								1	分	
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			・週期力なの別」	1度には、週期の規能	:n <- 1定V :1定抄、目 !	w≠、 ∪ ∪₩	サツかて配入す		1 100/313				
						<u> </u>											